

プレスリリース



《発表記者会：東北電力記者会、宮城県政記者会》
令和7年3月18日
国土交通省東北運輸局

2024年の東北の外国人延べ宿泊者数は、2019年の約1.24倍で過去最多の229万人泊 ～全ての月で同月として最多となる～

観光庁の「宿泊旅行統計調査の令和6年12月分(第2次速報値)」がとりまとめられたことを受け、東北運輸局管内(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県及び福島県)の集計結果を、以下のとおりまとめました。

東北運輸局管内の2024年の延べ宿泊者数(年計)について

- 日本人延べ宿泊者数は、35,786,320人泊
前年と比較して、0.6%減
- 外国人延べ宿泊者数は、2,293,770人泊
前年と比較して、46.9%増
これまでの過去最多だった2019年と比較して23.9%増となった。

東北運輸局管内の2024年12月の延べ宿泊者数について

- 日本人延べ宿泊者数は、2,650,000人泊
前年の同月と比較して、0.5%減
- 外国人延べ宿泊者数は、204,270人泊
前年の同月と比較して、29.1%増
2024年1月から12ヶ月連続で同月最多となった。

※2024年1月以降は月ごとの第2次速報値。

※2021年1月分より、「従業者数10人以上の施設」を対象とした延べ宿泊者数から、「全施設」を対象とした延べ宿泊者数に変更。特に注記の無いものは、全施設対象の延べ宿泊者数。

各県の詳細なデータについては、東北運輸局の観光統計、東北管内の延べ宿泊者数のページ
https://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/ks/ks-sub06/ks-sub06_002.htmlをご覧ください。



こちらのQRコードから上記URLにアクセスできます。

※東北運輸局管内の宿泊旅行統計の集計データにつきましては、このURL(固定)に掲載されます。

その他、全国に関する調査結果等につきましては、観光庁の宿泊旅行統計調査のページ

<https://www.mlit.go.jp/kankochosiryou/toukei/shukuhakutoukei.html>をご覧ください。



こちらのQRコードから上記URLにアクセスできます。

《問い合わせ先》

東北運輸局 観光部国際観光課 島田・丸山
TEL:022-791-7510

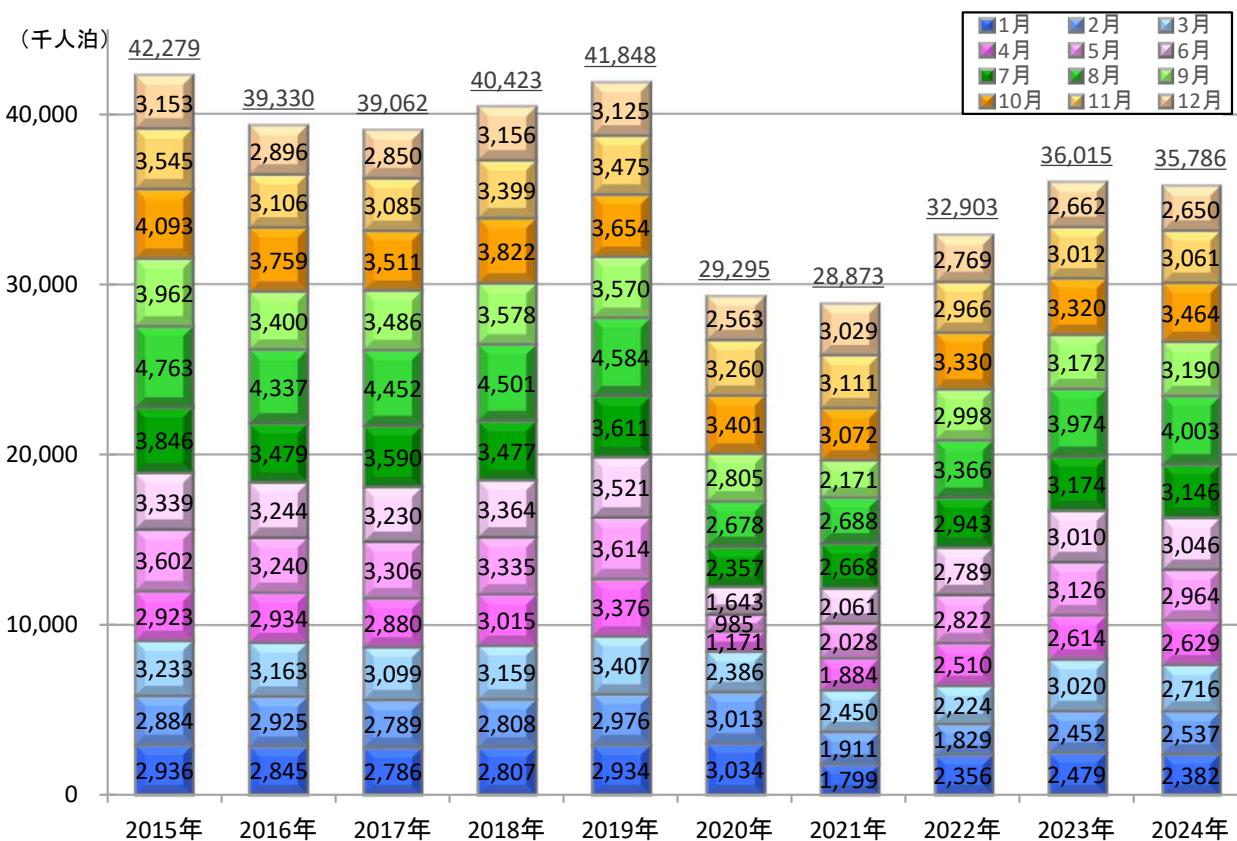
1. 東北運輸局管内における日本人延べ宿泊者数の推移



2024年について

- 宿泊者数は前年にはわずかに届かなかったが（約23万人泊減）、伸び率は全国平均に比べ高い数値となった。
- 2024年1月～3月期は、暖冬の影響でスキー場の営業休止や冬ならではのイベントの中止等があり、昨年の宿泊数には至らなかつたものと考えられる。

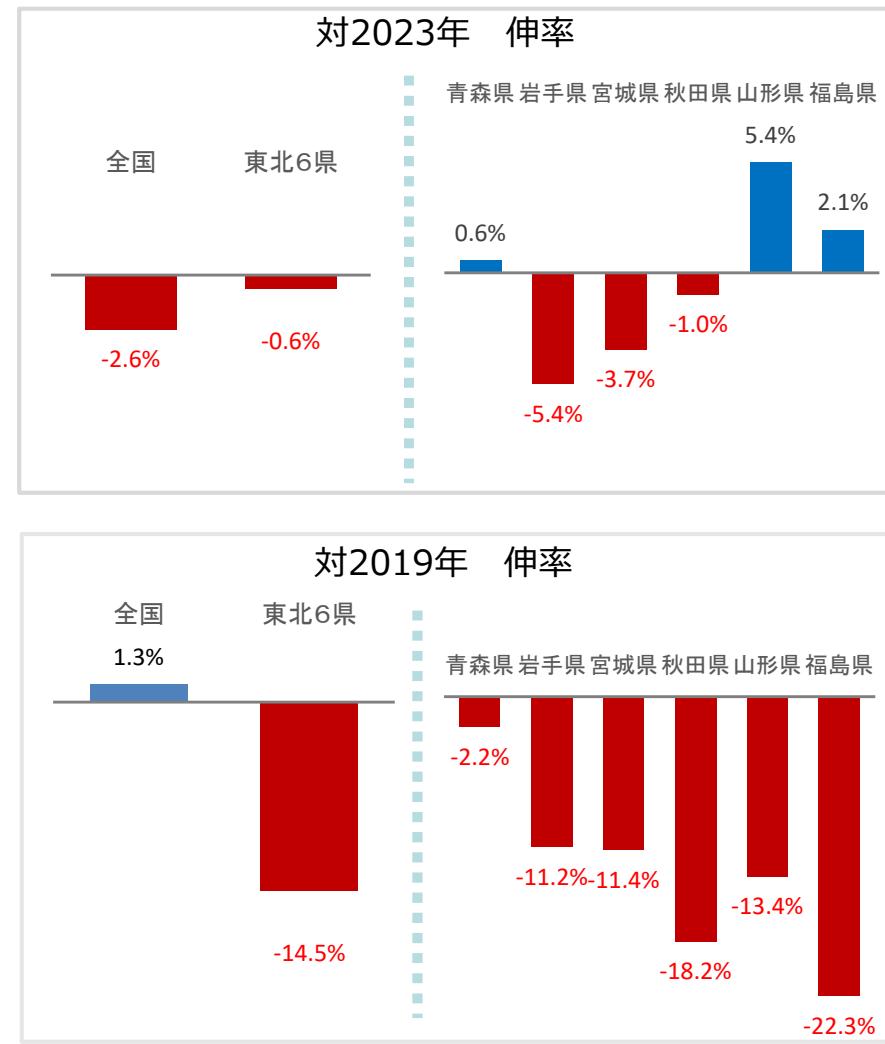
○東北運輸局管内の日本人延べ宿泊者数(月別)



2024年の各県日本人延べ宿泊者数

青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県
4,154,340人泊	5,270,240人泊	9,188,830人泊	2,875,060人泊	4,624,290人泊	9,673,560人泊

※2024年1月以降は月ごとの2次速報値

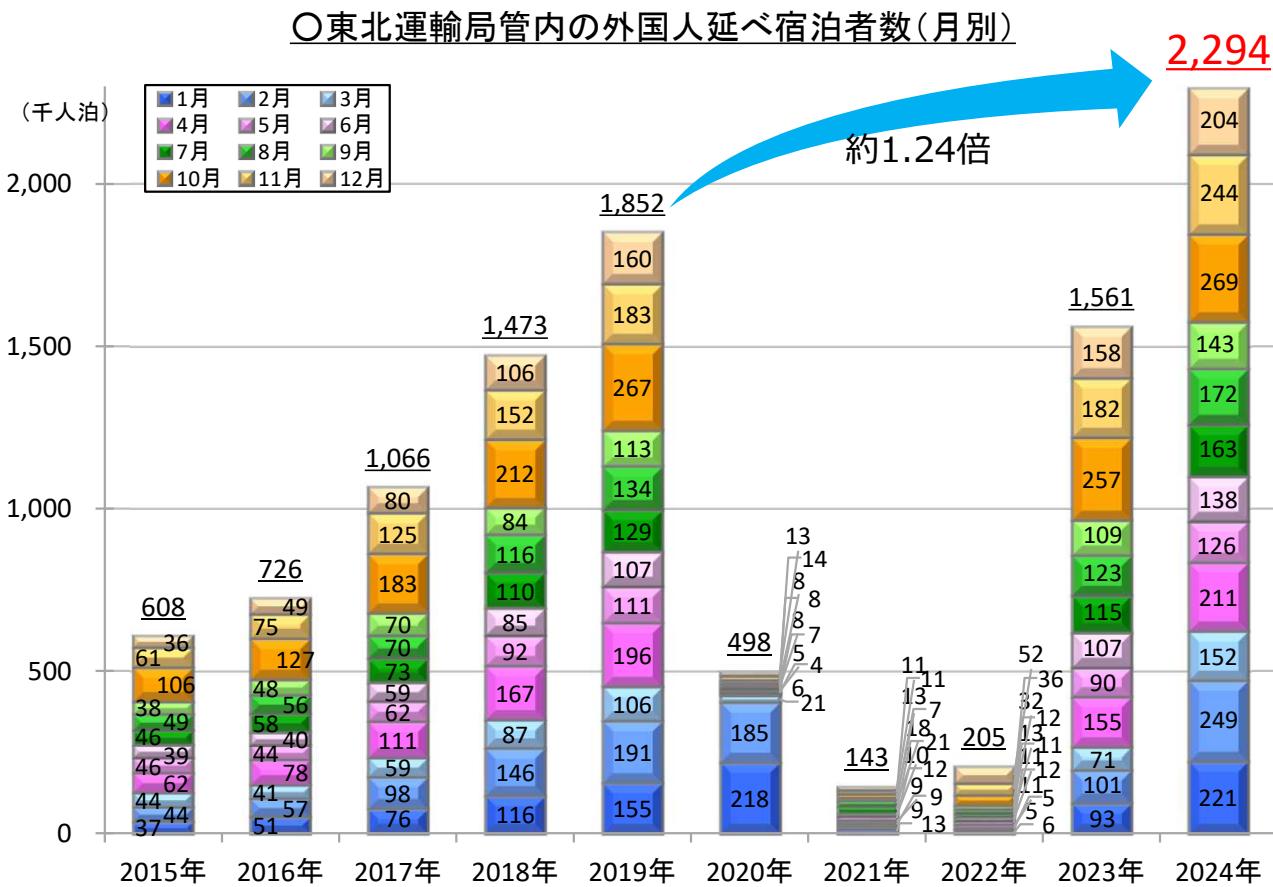


(出典：観光庁宿泊旅行統計)

2. 東北運輸局管内における外国人延べ宿泊者数の推移

2024年について

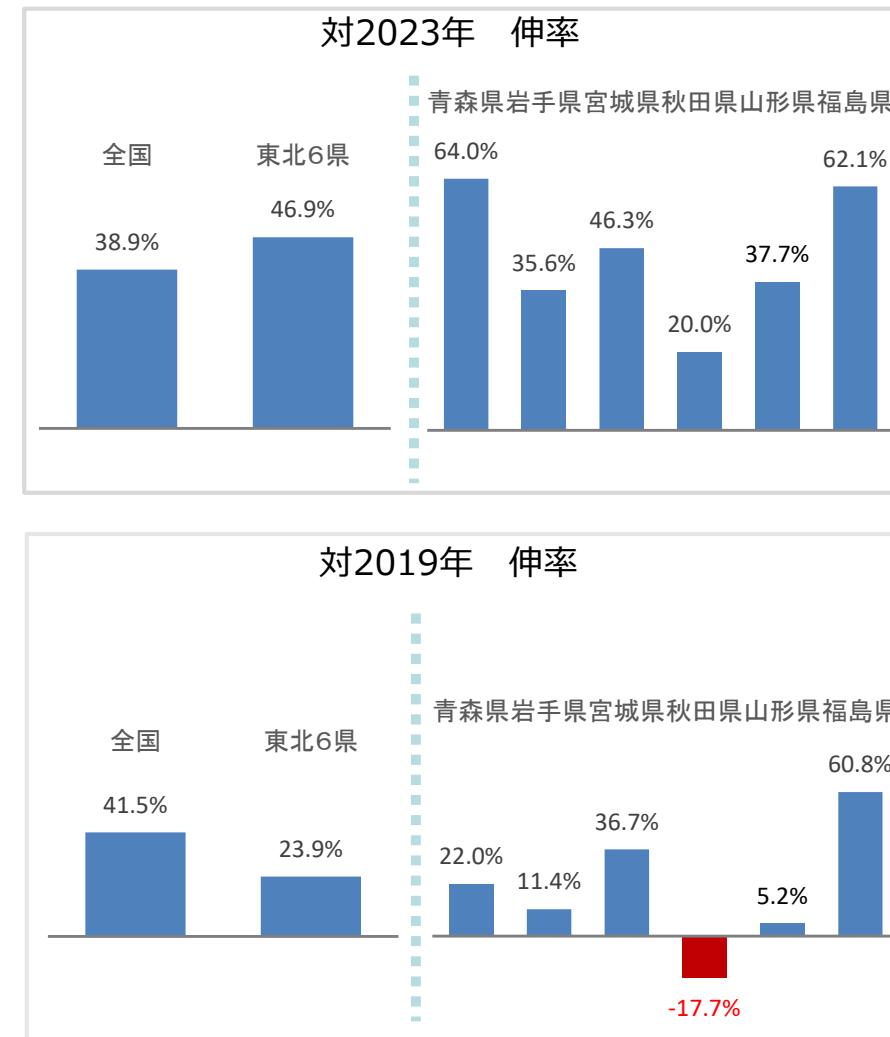
- 2024年1月から12ヶ月連続で同月として過去最多となり、2019年の約1.24倍となった。
- 東北の各空港で、海外との直行便がコロナ後再開され、多くの外国人観光客が東北を訪れたことが宿泊者の増加につながったものと考えられる。



2024年の各県外国人延べ宿泊者数

青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県
435,010人泊	383,040人泊	769,540人泊	114,690人泊	246,190人泊	345,300人泊

※2024年1月以降は月ごとの2次速報値



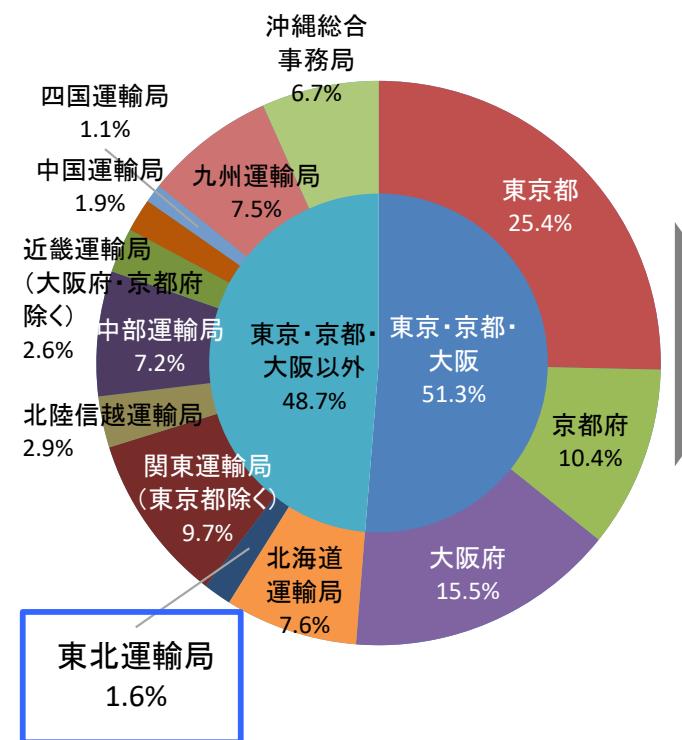
(出典：観光庁宿泊旅行統計)

3. 外国人宿泊者の運輸局管内別宿泊先比（2024年）

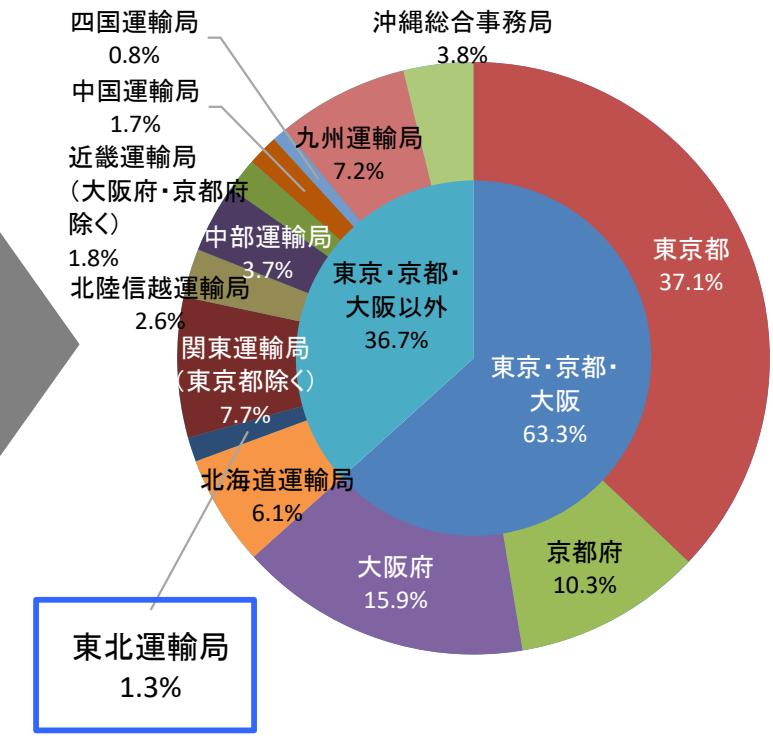
2024年について

- 東京、京都、大阪のゴールデンルートへ集中している状況は、前年から続いている。（6割超）
- 全国的に見ると東北のシェアは1%台が続いている状況。

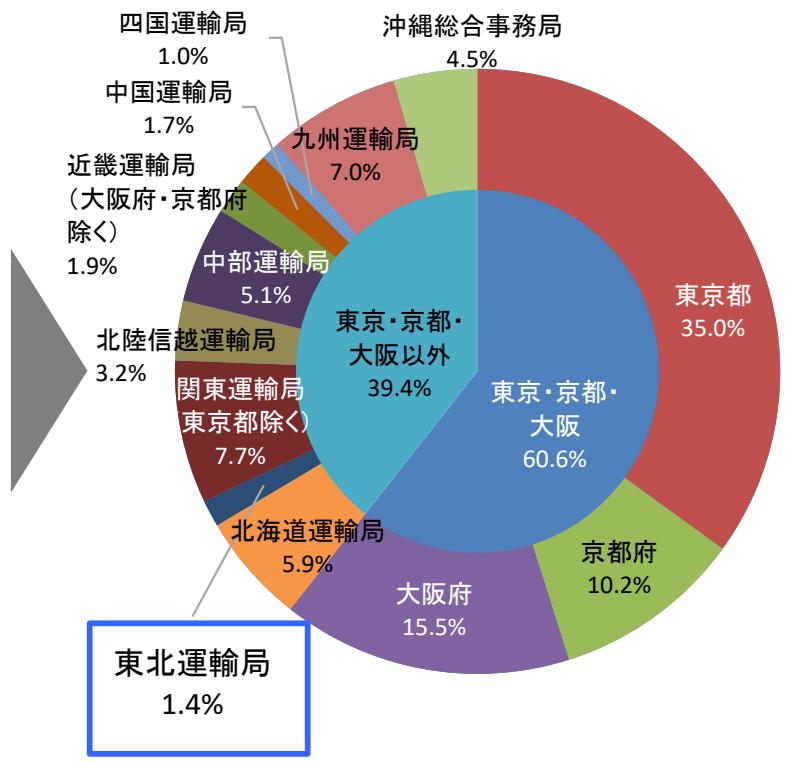
【2019年】



【2023年】



【2024年】



※2024年1月以降は月ごとの2次速報値

(出典：観光庁宿泊旅行統計)

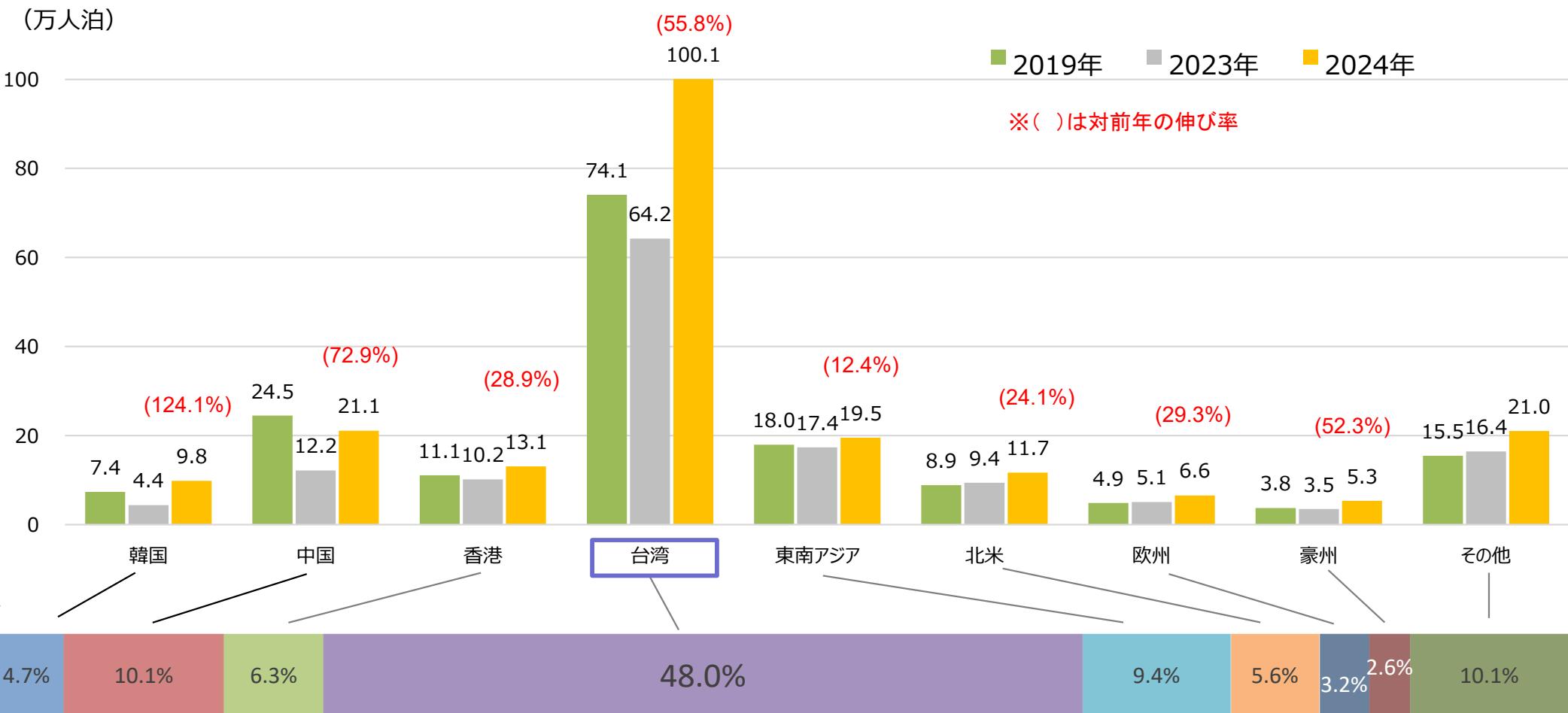
4. 東北運輸局管内における市場別外国人宿泊者数（2024年）



2024年について

- 東北6県とも台湾からの宿泊者が多数を占めており、東北全体で見ると約半数を占めている。
- 前年からの伸び率を見ると、韓国が最も高く、中国、台湾と続いている。

○東北地方 主要市場別外国人延べ宿泊客数



※従業者数10人以上の施設を対象とした延べ宿泊者数

※2024年1月以降は月ごとの2次速報値の計

※東南アジア：シンガポール、タイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム、フィリピン

北米：アメリカ、カナダ

欧州：イギリス、ドイツ、フランス、ロシア、イタリア、スペイン

(出典：観光庁宿泊旅行統計)